

京丹後市 がん検診の現状と課題

京丹後市健康長寿福祉部
健康推進課 吉田



京丹後市の概要

面積502 k m²
京都府4番目に広い

- 京都府北部丹後半島の中央に位置
- 平成16年 6町が合併
→京丹後市になる
- H28.4.1現在
人口57,198人 高齢化率34.3%
(合併時 人口65,822人 高齢化率26.6%)
- 産業 機械金属、繊維製品、
食品製造、農林水産、
観光が主な主産業

過疎と高
齢化進む

50km

豊かな自然にあふれ、「間人がに」で代表される海産物や風合い
豊かな「丹後ちいめん」で栄えたまち





京丹後市の検診

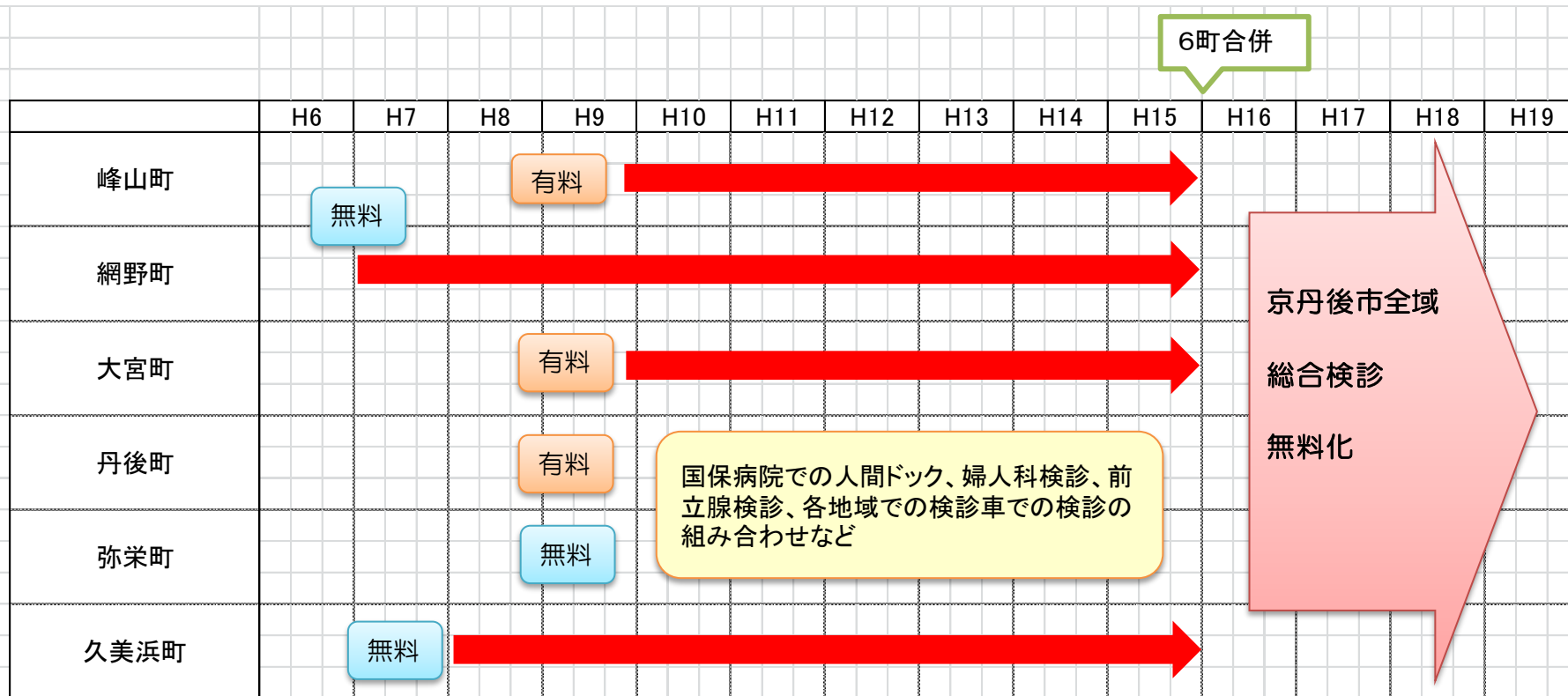
医療機関が少ない→検診の委託ができない
病院4カ所 診療所5カ所 開業医9カ所
うち市立病院は2カ所あるが、医師不足が悩み



以前から検診は検診業者に委託
住民の利便性、検診率向上のため
すべての検診が一度にできる

総合検診を実施している

総合検診の歴史



現在の京丹後市の検診について

総合検診 （京都予防医学センターに委託）

項目 健康診査 胃がん 大腸がん 前立腺がん 肺がん（結核）
子宮頸がん 乳がん 腹部超音波 肝炎ウイルス

案内 20歳以上全世帯個別通知 22,104世帯
受診勧奨：防災行政無線にて放送 お知らせ版記事掲載

日程 5月～9月 48日間 （日曜検診2日間）

会場 28会場（地区公民館・保健センターなど）
30分を1クールとして30人から50人

総合検診の様子

多いところでは
検診車が6台



検診スタッフ

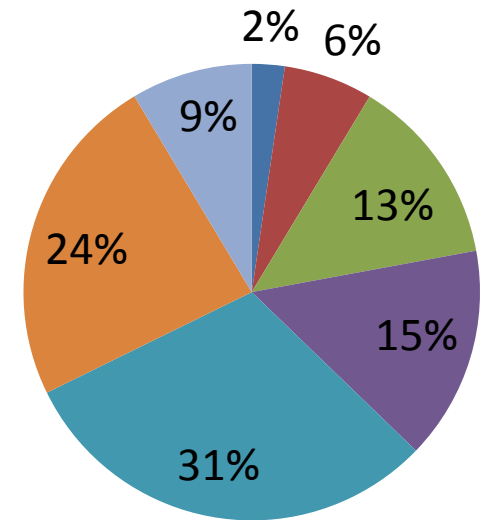
予防医学センター 平均30名
京丹後市健康推進課保健師2名

総合検診の様子



受付時間：午前8時30分～11時30分
午後1時30分～2時30分
受診者数：200～300名/1日
受診者数：11,279人（H27年度）

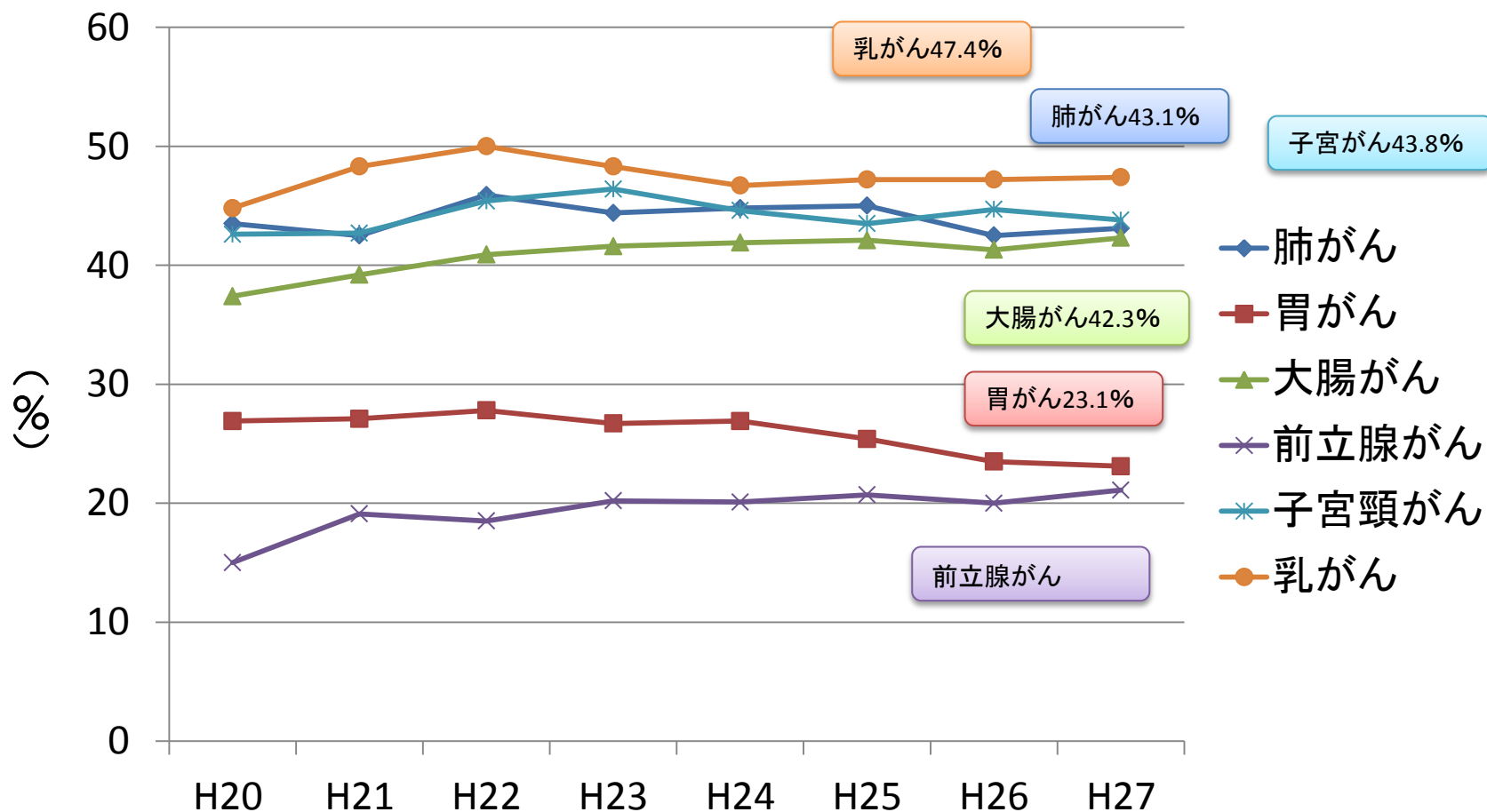
受診者年齢構成



■ 20代
■ 30代
■ 40代
■ 50代
■ 60代
■ 70代
■ 80代以上

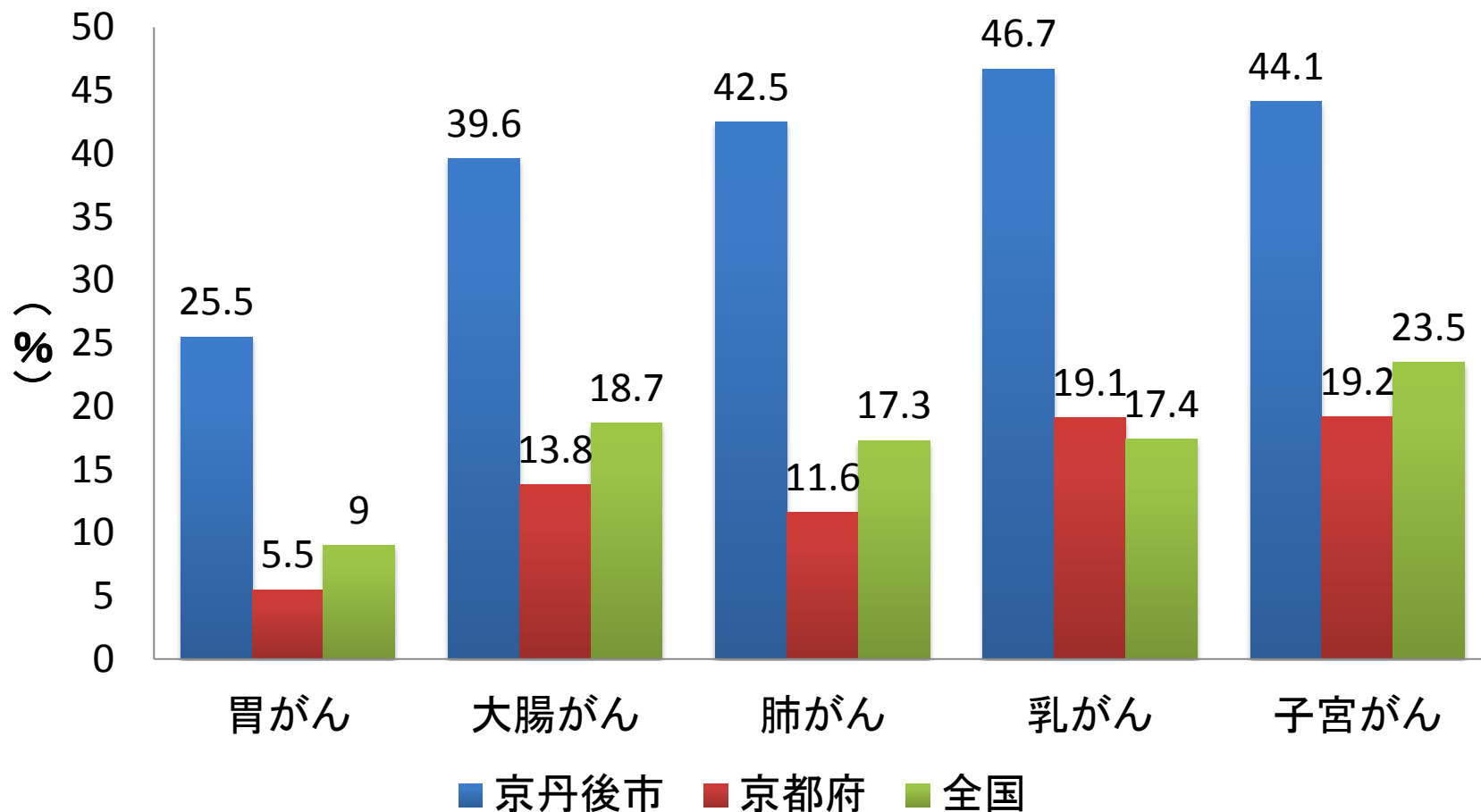
がん検診受診率(H20～27年)

受診率の算定は国の計算方式による



がん検診受診率(H24年)

受診率の算定は国の計算方式による



H27年度がん検診評価

陽性反応適中度・・・1.587% ↑
 精検受診率・・・・・・71.563% ↑
 どちらもOでA評価、どちらかOでB評価

	肺がん	胃がん	大腸がん	前立腺がん	子宮がん	乳がん
がん発見 (率)	3人 (0.04%)	12人 (0.27%)	12人 (0.16%)	23人 (1.02%)	1人 (0.03%)	11人 (0.38%)
精検受診率	82.490%	76.504%	74.15%	71.923%	84.286%	95.536%
陽性反応 適中度	0.708%	4.494%	2.88%	12.299%	1.695%	10.280%
総合評価	B	A	A	A	A	A

至急精検の受診者には、訪問で結果を説明、精密検査の受診勧奨を実施。
 未受診者（医療機関より精密検査結果票が未返却の方）には、電話勧奨、
 勧奨通知を行っている。H26年度より勧奨通知をはじめ、精検受診率が
 前年度より平均6.5%アップした。

受診率が高いわけ1

①総合検診

- ・相乗効果あり 「ついでに受けよう」
- ・利便性が高い 一度に健康診査、複数のがん検診が受診できる

(H7網野町が総合健診を導入した際、前年度とくらべて受診者が大幅に増加した
大腸がんは2.6倍、乳がん検診2.2倍 子宮がん検診1.6倍 胃がん検診1.5倍)

②身近なところで受けられる

検診場所はこまめに地域に入っている
送迎体制あり

③待ち時間を少なくする工夫

30分ごとの案内
当日まで日程変更を可能とし、調整している

④当日の流れの工夫や配慮

予防医学センターと打ち合わせ会議・反省会

受診率が高いわけ2

⑤無料化

⑥個別通知

申し込みは前日、当日でもOKとしている

⑦受診勧奨

防災無線での各戸放送 お知らせ版掲載 地元FMたんごラジオ放送

健康づくり推進員より受診勧奨

⑧こまめな結果報告会

各地区公民館等にて結果返し、保健・栄養指導を実施

⑨社会保険扶養の方の健康診査も同時実施

個別で
丁寧に

総合検診の課題

- 受診率の低下
- 受診者の固定化 高齢化
- 胃内視鏡検査の導入

平成28年2月がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針（以下国の指針）により「胃エックス線検査又は、胃内視鏡検査を50歳以上に2年に1回実施」

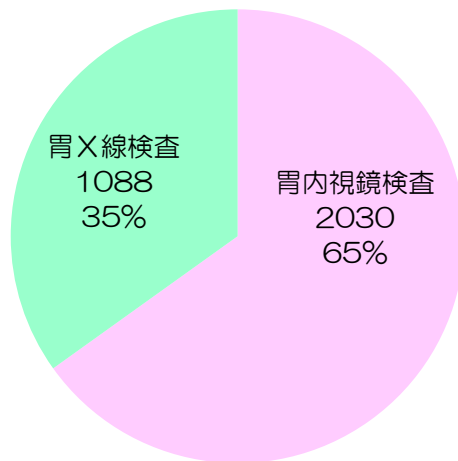
胃内視鏡検査実施の課題

胃内視鏡検査のニーズ

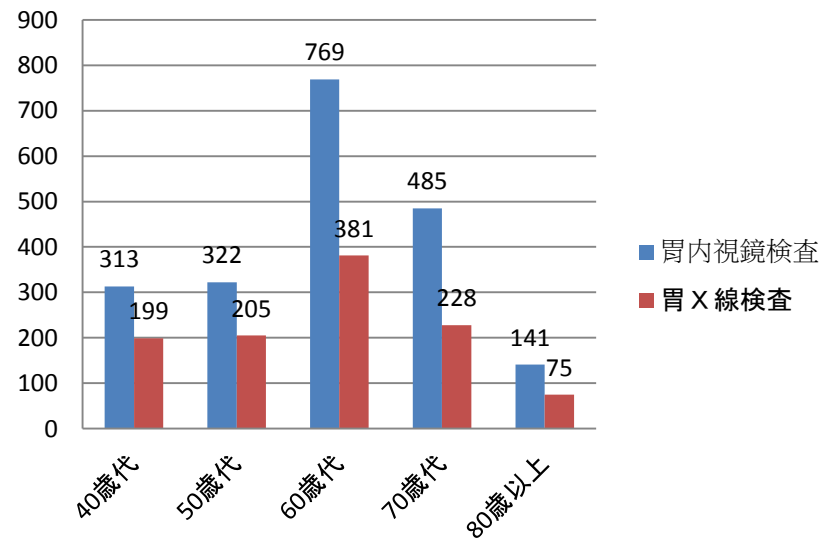
50歳以上2年に1回実施として
1年見込み数 1538人

アンケート調査の結果（H28年度総合検診申込み時）

胃検診希望



年代別胃がん検診希望



胃内視鏡検査実施の課題

胃がん検診あり方についての意見交換会実施
(H28年5月)

参加者 医師会長 市立病院長 消化器医師
丹後保健所 健康推進課

結 果

- ・医療機関の現状の中で、胃内視鏡検査のキャパシティがない
- ・リスクの検討が必要
- ・ダブルチェック体制整備は難しい

京都府下14市の現状、課題も同じ状況
(7/29京都府下保健予防協議会にて)

胃内視鏡検査実施の課題

胃内視鏡検査の実施にむけて

医療過疎の京丹後市では医療機関での胃内視鏡検査の実施はむずかしい

(胃内視鏡検査を実施する医師 開業医・診療所9人
病院 常勤11人 非常勤7人以上)



①国・京都府の協力が必要

医療機関、医師会など関係機関との調整、保健所単位での検診センターの創設など総合的ながん検診が実施できる体制の構築に力を貸していただきたい。

胃内視鏡検査実施の課題

②国の指針に自治体の意見も反映してほしい

国の指針を出す経過の中、例えば「がん検診のあり方に関する検討会」等で、検診を実施する自治体からも意見を聴取してほしい。

指針にそって検診が可能かどうかも考慮することが必要ではないか。

③胃がんリスク検診について

胃がんのリスクを層別化し、胃内視鏡検査を効率的に実施すること等も考えられるが、死亡率減少のエビデンスがない中、実施後のフォロー体制がとれないこと等課題もあり、実施はできない。

最後に

- 今後も総合検診の受診率の向上を図り、事後指導や検診後のフォローを充実強化し、健康寿命を延伸をめざす。

一人ひとりを大切にした、きめ細かな保健活動を推進
健康づくり推進員による地域への普及啓発の充実など

- がんの予防対策の推進

がん予防のための生活習慣改善や環境整備などの大切さの啓発

- 胃内視鏡検査の実施にむけた検討

京都府 関係機関との連携、調整を図りながら、京丹後市でできる胃内視鏡検査を検討していく